

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

2025/08/06

★前南SAH「一学期の活動」あらかると

「SAHジャーナル」で紹介しきれなかった今年度のこれまでの活動を紹介します。「みんなの学校新聞」に2回取り上げていただき、本校への視察も2回ありました。(編集 教頭)

1 メディア掲載

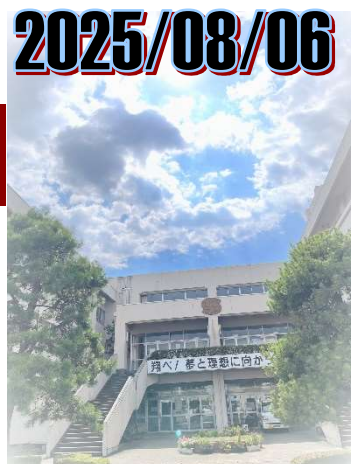
① 「みんなの学校新聞」の7月号

群馬県内のSAH特集の中でとりあげていただきました。生徒会及び生徒会顧問が取材を受けました。

5

みんなの学校新聞

2025.7 中学生のための進路情報誌



CASE 01 県立前橋南高校



「校内に挑戦できる環境が生まれていると感じます。挑戦しないことがもったいない、今そんな雰囲気があります」。生徒会長で3年生の腰高紗依さん(粕川中出身)は、SAH活動によって前橋南高校が大きく変わってきた手応えを語ります。

「野球部応援企画」「アイスの自動販売機設置」「校則ルールの見直し」など、多様なプロジェクトを生徒たち自身の手で形にしてきました。提案は外部の企業や他校への調査・取材を経て、丁寧に企画書としてまとめます。先生方へのプレゼンでは差し戻しになることもあり、そのたびに内容を練り直し、根気強く交渉を重ねてきました。そうしたプロセスを経て、多くの企画が実現に至っています。

昨年は、前橋市長が主催する市の未来を考えるタウンミーティングに、同校の生徒3人が自発的に参加し、

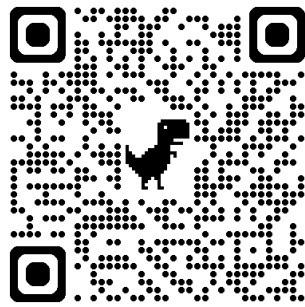
SAH活動を紹介しました。終了後、生徒が「前南にアイスを食べに来てください」と半ば冗談で声をかけたところ、なんと本当に市長が来校。生徒会顧問の原澤正樹先生は生徒の提案で市長が来たことと生徒の積極性に驚いたそうです。その後は逆に、市長の側からミーティングへの出席要請がありました。副会長の小此木いろはさん(高南中出身)は「市長からの依頼は本当にうれしかった」と笑顔で語ってくれました。

今年は文化祭にあわせて、生徒発案でインスタグラムの運用もスタート。課題やリスクについて議論を重ねた上で、学校側にプレゼンし、運用が実現しました。

「今は、生徒と教員という関係を超えて、同じ仲間として学校をつくる時代です」と原澤先生。SAHの1期生たちは現在大学2年生。多くが海外に出たり、ボランティア活動に積極的に参加したりしているそうです。

② 「みんなの学校新聞」电子版(7/12)

で本校生徒会と桐生市立商業高校生徒会の情報交換会の様子をとりあげていただきました。7/2(水)の放課後オンライン会議を開き、生徒主体での学校生活の改善に向けた取り組みについて意見を交換しました。右のQRコードより記事が見られます。



③ 群馬県教育委員会の高校教育課のInstagram

SAHに取り組む高校をとりあげてくれています。本校だけでなく群馬県内の他校の取り組みも見ることができます。(右QRコード)



@GUNMA_SAH

2 本校への視察～教員間の情報交換・研修～

① 足利市内高等学校生徒指導連絡協議会の先生方が来校

6/30(月)、栃木県足利市内にある高校の生徒指導主事の先生方18名が本校に視察に来てくれました。「生徒主体のルール作り」がテーマで、本校から「前南ニューススタイル」の経緯と現在について話をさせていただきました。情報交換会の途中、授業や休み時間の生徒の様子を見学してもらいました。笑顔であいさつする前南生に感心しきり。アイスの自販機にも興味津々でした。本校は教頭、生徒指導部の教員2人が対応させていただきました。



② 所沢高校の先生方が来校

7/23(水)、埼玉県所沢高校の校長先生と先生2名の計3名で来校されました。本校は校長、教頭、進路指導主事、教務主任の4人が対応させていただきました。生徒の主体性という点では日本の中でも先を行く所沢高校の様子には、学ぶべき点が多くありました。その主体的な活動や授業「総合的な探究の時間」の探究活動をどのように進路に活かしていくか、活発な意見が出され、有意義な情報交換会となりました。所沢高校の校長先生を始め先生方のパワーと情熱にこちらも力をもらいました。